

〔協力館紹介〕きしわだ自然資料館

きしわだ自然資料館は大阪府岸和田市にある自然史系博物館です。館内 2 階フロアには岸和田を中心とした大阪南部・泉州地域の自然のことを、たくさんの実物標本や模型、ジオラマなどで紹介しています。また、当館生まれで、いまや全国レベルの人気をほこる学習プログラム「チリメンモンスター」を紹介するコーナーがあるほか、日曜と祝日を中心にかんたんな実習体験ができるスペースもあります。さらに「動物の研究室」コーナーには大阪湾やその近海で採集されたウミウシ類の色彩保存標本を展示しています。

きしわだ自然資料館
Natural History Museum.Kishiwada City



開館時間：10：00～17：00（入場は16時まで）

- 開館日：**・毎週月曜日（祝日・休日は開館）
・祝日・休日の翌日（土曜日・日曜日・祝日は開館）
・毎月末日（12月には28日；土曜日・日曜日・祝日は開館）
・敬老の日の前日と前々日（だんじり祭り）
・年末年始（12月29日～1月3日）
・展示替期間（臨時休館）

入館料：大人 200 円・中学生以下無料
（特別展開催期間中は大人 400 円）
そのほか団体割引等もあります。

所在地：〒596-0072 大阪府岸和田市堺町 6 番 5 号

電話：072-423-8100

FAX：072-423-8101

Email：sizen@city.kishiwada.osaka.jp

- アクセス：**・南海本線岸和田駅より徒歩 12 分
・JR 阪和線東岸和田駅より南海ウイングバス「岸和田駅前」ゆきに乗車し終点下車後徒歩 12 分
・南海本線岸和田駅より地域巡回ローズバス「南ループ」に乗車し、「市役所前」あるいは「大手町」下車後徒歩 5 分（平日のみ）
・自動車の場合は、阪神高速 4 号湾岸線岸和田南 IC から北へ約 5 分

<MEMO>

博物館の最新情報、パスファインダーについては X の「@Hakubutsu_Club」からお知らせ、また <https://www.hakubutsuclub.com/> でご覧いただけます。

03 チリメンモンスターを学ぶ Ver.2/23.Nov.2024

博物館 03
書庫の道しるべ



チリメンモンスターを学ぶ (ver.2)



対象者：チリメンモンスターについて詳しく知りたい方（中学生以上対象）

作成者：KBTT

協力：きしわだ自然資料館

I. イントロダクション

チリメンモンスターとは？

チリメンジャコの主原料となるカタクチイワシの仔魚(シラス)を捕まえる際、他の様々な仔稚魚やイカ・タコ・カニ・エビ類の幼生といったミクロな海の生き物（プランクトンが主）が混じることがある。それらの生き物はモンスターに見立てて「チリメンモンスター」（略称：チリモン）と呼ばれ、生物多様性や海洋環境保全を学ぶ教材として取りあげられている。今やチリモン探し（ソーティング）は子供に人気のあるワークショップとして、全国各地の教育機関で実施されている。

チリモンから「分類学」を学ぶ（ソーティングから分類学へ）

ソーティングは誰でも楽しめるが、その先にある「分類（種名の特定）」は難しい。その第一関門を突破するには各生物群の予備知識が必要で、その取得には辞書的に使える「生物図鑑」が有効となる。ここでは中学生以上を対象としチリモン実習の事前・事後学習に活用できる図鑑・書籍等を紹介する。さらに進んで「分類」とはそもそも何かを知るための書籍も併せて紹介したい。

キーワード：カタクチイワシ、チリメンジャコ、チリメンモンスター、仔魚、稚魚、幼生、幼体、プランクトン、図鑑、検索、分類、同定

II. チリモンに特化した書籍・図鑑・Youtube

■きしわだ自然友の会, 2009, 『チリモン博物誌』 幻戯書房.

チリモンとは一体何か、どんな生き物が出てくるのか、チリモン事業を立ち上げたチリモンバスターズが丁寧に教えてくれる一冊。読み物としても、図鑑としてもとても面白い。チリモン分類の難しさも、これを読めば納得できる。チリモン初学者の方も、きっと心折れずにソーティングと分類が楽しめる。

■きしわだ自然資料館・きしわだ自然友の会・日下部敬之(監修), 2009, 『チリメンモンスターを探せ!』 偕成社.

ソーティングが追体験できる一冊。探し方も徐々に難易度が上がっていき、親の姿からチリモンを探すなど、読者の想像力も試される。チリモンのグループ分けチャートもあって、分類の第一歩にもってこいの良書。

■きしわだ自然資料館・武田正倫(監修)・いずもりよう(絵), 2016, 『チリメンモンスターのひみつ』 偕成社.

チリモンの成長段階や生息環境である「海」について解説した一冊。目の前のチリモンが、どの成長段階のもので、なぜシラスと一緒に漁獲されたのか、その背景を概観することができる。チリモンの成長や漁獲海域の理解は、分類をするうえでも有効になる。

■井田齊(監修)・西田百代(著・写真), 2020, 『海のミクロ生物図鑑——チリメンモンスターの中に広がる世界』 仮説社.

チリモン探しのバイブル的図鑑。副題の「チリメンモンスターの中に広がる世界」にあるとおり、チリモンを取り上げて解説が行われ、分類のポイントが記載されている。平易な文章で書かれているため、チリモン初学者でも取り組みやすい。また、本書はもともとチリモンイベントのスタッフ用参考資料として作られたため検索性にも優れている。

■公益社団法人 大阪自然環境保全協会, 『チリメンモンスター WEB インタラクティブ図鑑』 <https://chirimon.jp/>

WEB 投稿型のチリモン分類図鑑。現在登録数は 5,600 件超。分からないチリモンについて、特徴や分類群から調べられる。また不明チリモンの写真を投稿すると管理者または専門家が分類してくれる。

■西田百代, 2024, 『イラストで分かるチリモンの見分け方 No.1 魚類 -1, No.2 魚類 -2, No.3 タコ イカ 貝 エビ カニ, No.4 エビ・カニ以外の甲殻類』, <https://www.youtube.com/@西田百代>

『海のミクロ生物図鑑』の著者が動画で丁寧に分類方法を教えてくれる。

III. 生きているチリモン・プランクトンの姿を見たい！知りたい！と思った方向けのおすすめ書籍・図鑑・Youtube

■山崎博史・仲村康秀・田中隼人(指導・執筆), 2024, 『図鑑 NEO POCKET プランクトン クラゲ・ミジンコ・小さな水の生物』 小学館.

チリモンにも登場する様々なプランクトンが生態写真とともに紹介されているポケットサイズ図鑑。掲載順が多細胞動物から単細胞生物までとなっているところも興味深い。そしてなんとも豪華な執筆陣。

■岸和田市, 2021, 『学校で学ぶ大阪湾②「大阪湾にすむ生き物」』 <https://youtu.be/2sp6d5bJ0W8>

生きているチリメンモンスターを観察できる動画。大阪湾についても学べるので、大阪湾産チリモンに取り組む方はぜひ視聴いただきたい。

IV. 分類とは何かを学ぶ書籍

■岡西政典, 2022, 『生物を分けると世界が分かる』 講談社.

「分ける」「まとめる」とはそもそも何か、また最新分類学の概要を学べる一冊。著者はクモヒトデ類の分類学者であり、本書中で海洋動物を取り上げることも多く、チリモン初学者もイメージ的に入りやすい一冊。